

『景色』セカイのトビラを開こう

世界トップクラスのスピードとスタミナを兼ね備え、
FIFAワールドカップ2026で日本中に感動と勇気を与えた前田大然選手。
サッカーへの思いや大阪府内の高校生へのメッセージについて聞きました。



まえだ だいぜん 選手(MF/FW)
生年月日:1997年10月20日 出身:大阪府
小学4年生のとき、転校先の大阪府太子町でサッカーをはじめ。2021年には横浜F・マリノスでJ1得点王を獲得。2022年1月にセルティック(スコットランド)へ移籍。豊富な運動量と果敢なプレーでリーグ優勝をはじめ数々のタイトル獲得に貢献している。
FIFAワールドカップ2026では、日本代表の前線を支える中心選手として攻守にわたり献身的なプレーを披露。圧倒的な走行距離とスプリントで世界中のサッカーファンに強い印象を残した。

写真:横山マサト



写真:松尾/アフロスポーツ

「楽しい」からはじまった サッカー人生

最初は体操を習っていたのですが、身体が非常に硬かったのでやめようと思っていました。そんな時に太子町へ引越をし、新しくできた友達に誘われてサッカーを習いはじめました。

小学校、中学校、高校とずっとサッカーをしていましたが、プロサッカー選手になりたいとは思ってもいなかった、というか考えてもいなかったです。とにかく楽しく、全力でボールを追いかけていました。

高校3年生の時にプロクラブの練習に参加するチャンスが訪れ、そこで初めて「プロになれるかも」「プロになりたい」と思うようになりました。

支えてくれた 人たちへ、 プレーで恩返しを

高校時代は寮生活をしていたので、友人とのほんとに何気ないお風呂での会話、食事での会話が幸せでした。サッカーができない時は社会人チームで大人に混じってサッカーをさせてもらい、チームメイト含め、たくさん

の人たちにサポートしてもらいました。そのため家族はもちろん、その人たちに感謝の気もちをプレーで返したいという思いで、日々全力でプレーしています。

FIFAワールドカップ 2026を振り返って

僕はたくさんの人たちにこれまで支えてもらい、そのお陰でワールドカップの舞台でプレーできたと思っています。皆さんにも、一人ひとりに大切な家族や友人がいると思います。その人たちの支えのお陰で今の自分があると思います、感謝の気もちを忘れず1日1日を生きてほしいと思います。

失敗を恐れず、 前へ

僕自身何回もつまずき、何回も失敗して、何回も下を向きそうになりました。でもその度に、「僕には応援してくれている人がいる!」と思うと、失敗してもいいから前を向いて挑戦しようという気もちになります。皆さんにも支えてくれる人が必ずいます。なので諦めずにどんどん挑戦をしていってほしいと思います。

1つめの
キーワードは
「さ」